

大正ロマン昭和モダン展―竹久夢二・高島華宵とその時代

会 期 2011年4月16日(土)～2011年6月19日(日)

「大正ロマン」という言葉にはノスタルジックで甘美な響きがあります。絵画、デザイン、そして詩文と広い分野に作品を残した竹久夢二は、細身で瞳の大きい女性を描き、そのはかなくセンチメンタルな雰囲気に包まれた美人画は、大正ロマンを象徴するイメージともなっています。大正から昭和初期にかけては、戦争や不況といった暗い世相が続く一方で、近代化と都市化が進み、街には流行の先端をゆくモダンガールが登場するなど、大衆文化は大きく花開きます。少年少女雑誌を中心に活躍する挿絵画家も多く誕生し、中でも印象的な眼差しの女性を描いた高島華宵は、流行歌にその名が織り込まれるほどの人気で一世を風靡しました。挿絵画家たちは当時の風俗や流行を敏感にとらえるとともに、幅広い活動を見せ、人々に夢を与える大衆アートのスターとなっていったのです。本展覧会では、大正ロマン・昭和モダンを彩る画家たちの日本画・版画・挿絵・楽譜・装丁本などの作品 200 余点を展示いたします。ロマンティック&モダンの世界をどうぞお楽しみください。

会 場 高崎市タワー美術館 (〒370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)

開館時間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 月曜日

会期中の休館日：4/18・25、5/9・16・23・30、6/6・13

※4/29～5/8は休まず開館

観 覧 料 一般：500円(400円)、大学・高校生：300円(250円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

監 修 中右 瑛 (国際浮世絵学会常任理事)

企 画 協 力 E.M.I.ネットワーク

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

関連事業

- 作品解説会 4/16、5/7、5/21、6/4、6/18 14:00～